

**ワキが広範囲で発生。浅水管理を基本とし、水交換や田干しを必ず行いましょう！**

6月20日頃までに茎数を確保し、6月25日頃までには中干し開始！

#### 1 現在の生育状況（6月9日 普及課作柄診断圃）

品種 移植/直播	場所	年次	移植/播種	草丈 (cm)	茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
					5月31日	6月9日		
はえぬき 移植	鶴岡市矢馳	本年	5月16日	27.7	136	300	6.2	35.2
		平年比	±0	98%	95%	95%	-0.4	0.1
つや姫 移植	鶴岡市上清水	本年	5月12日	29.5	133	299	6.4	36.4
		平年比	-1	98%	106%	104%	-0.2	4.6
雪若丸 移植	鶴岡市長沼	本年	5月12日	24.8	131	295	6.5	42.4
		平年比	-1	102%	95%	102%	0.1	6.1
はえぬき 鉄コ直播	庄内町堀野	本年	4月27日	22.7	143	244	5.6	32.8
		平年比	-4	114%	130%	107%	0.5	-3.5

作柄診断圃では平年と比べて、草丈は「並～長い」、茎数は「やや少ない～多い」、葉数は「やや少ない～やや多い」、葉色は「薄い～濃い」となっています（上表）。

全般的にワキが発生しています。生育量が小さい圃場も散見されます。今後の高温（下表）でワキの程度が一段と強まり、茎数確保が遅くなるおそれがあります。水交換や田干しを積極的に行うことにより、茎数を確保しましょう。生育量が小さい圃場でも、基肥は十分に施用しているはずなので、追肥にはよらず水交換や田干しにより茎数確保に努めましょう。

今年は乾土効果が大きいと推測され、土壌中の残存アンモニア態窒素も平年より多くなっています（下図）。穂肥時の葉色を適正にするためにも、水交換や田干しによりイネの根を健全化し、今のうちに土壌中の窒素をなるべく吸収させましょう。

表 東北地方の1か月予報(6/8 仙台管区气象台発表)

向こう1か月 (6/10～7/9)	気温が高い確率70%
1週目 (6/10～6/16)	80%
2週目 (6/17～6/23)	70%

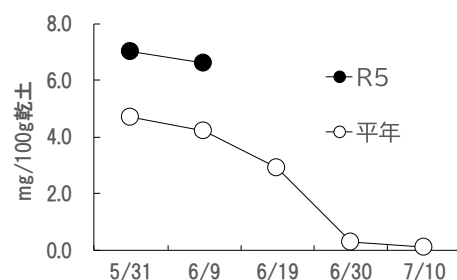


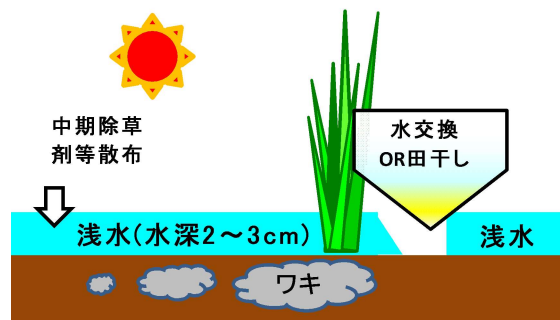
図 土壌中残存アンモニア態窒素 (水田農業研究所 標準施肥「はえぬき」)

## 2 当面の技術対策

### (1) 浅水管理＋水交換により茎数を確保

分けつを増やすには、浅水管理によって水温を高める必要があります。入水は水温上昇が見込める時間帯に行いましょう。降雨後は「深水」のままにならないように注意しましょう。

浅水管理を基本としながら、水交換や田干しを随時行い、6月20日頃までに目標茎数の80%～90%を確保しましょう。そして6月25日頃までにはキツパリ中干しを開始しましょう。



#### 「雪若丸」の補完追肥

水交換や田干しを徹底したにもかかわらず、6月20日時点で㎡当たり茎数300本以下(坪70株植:14本、坪60株植:16本以下)かつ葉色(SPAD値)40以下の場合は、ただちに10a当たり窒素成分1kg程度を追肥しましょう。

品種	目標茎数(穂数)		目標茎数の80～90%		
	㎡当たり (本)	坪70株植	坪60株植	坪70株植	坪60株植
		(本/株)	(本/株)	(本/株)	(本/株)
はえぬき	540	25	30	20～23	24～27
雪若丸	580	27	32	22～24	26～29
つや姫	440	21	24	17～19	19～22

6月20日頃までに確保。そして中干し。

### (2) 斑点米カメムシ類対策：農道・畦畔の除草

水田へのカメムシ類の侵入を抑え、本田薬剤防除の効果を高めるためには、カメムシ類の繁殖源となる農道・畦畔の除草を面的・継続的に行う必要があります。

### (3) 残存雑草対策：除草剤の適正使用

対象雑草と使用方法を確認しましょう。雑草が小さいうちに散布するのが効果的です。

除草剤名	対象雑草	使用方法
グリーンチャー 1キログラム粒剤	ビエ	湛水散布
グリーンチャー-EW	ビエ	湛水散布または落水散布
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	広葉	落水散布またはごく浅く湛水して散布

### (4) 葉いもち対策：早期発見・早期防除

水田内の取置き苗をただちに撤去しましょう。前年発生した圃場や葉色の濃い圃場は要注意です。発生を確認したら早目に防除しましょう。



熱中症予防強化月間

定期的に水分と休憩を取りましょう

